



旧中山道 (妻籠宿／馬籠宿)

「南木曾支署」長野県南木曾谷の南部に位置する木曾郡南木曾町と岐阜県中津川市を結ぶ旧中山道（妻籠宿／馬籠宿）沿いの町指定名勝が男滝・女滝です。

旧中山道は江戸を起点とする五街道の一つで、江戸から京都を結ぶ重要な街道でした。

名称の由来は、日本国土の中間の山道ということで中仙道とも記されましたが一七一六年、徳川幕府は中山道と名称を統一したと言われています。

妻籠から馬籠に至る七キロメートルの街道は、家族連れでも気軽に歩けるハイキングコースとして人気があり、最近では外国人旅行者にも広く知られ訪れる者が増えています。

江戸時代からの日本情緒を残し、その魅力は旧街道にある「男滝・女滝」や背景となっている樹齢百年の木曾ヒノキなどの美林にあります。特に木曾に街道が

開かれて以来、旅人に名所として親しまれ、憩いの場であったと伝えられている「男滝・女滝」は、吉川英治氏の著書「宮本武蔵」の舞台にもとりあげられています。

滝に向かって左側が男滝で落差十メートルの滝幅の広い滝です。

右側が女滝で女らしくやや線の細い滝です。

また、南木曾町妻籠宿から馬籠峠に至る旧中山道沿いは、木曾ヒノキ、サワラ、ヒバなどの天然の林があり、この一帯の国有林は、国の重要伝統的建造物群落保存地区及び県の郷土環境保全地区に指定され、自然探勝、憩いの場として、レクリエーションの森（風致探勝林七十四ヶ）に選定されています。

◆アクセス

(所在地)

長野県木曾郡南木曾町大妻籠

○車でお越しの場合

中央自動車道

中津川ICを降り、国道十九号線を南

木曾町方面へ三十分

長野自動車道

塩尻ICを降り、国道十九号線を南木

曾町方面へ二時間

○公共交通機関をご利用の場合

JR中央西線南木曾駅で下車し、バスまたはタクシーで十五分



眼下の妻籠宿と馬籠峠方面を望む（妻籠城跡より）



女滝



男滝



観光客で賑わう妻籠宿



妻籠宿と背景林の伊勢山（国有林）